# 令和２年度事業報告

架　け　橋

## １．重点課題に対する取り組みについて

### （１）各サービスにおける収益の改善

**ア．外部環境**

架け橋が開設して５年以上が経過しましたが、サ高住、デイサービスともに収益面では厳しい運営状況で、他施設からの繰入金を受け運営しています。徐々に入居待機者やデイサービスの利用者も増え、令和元年には居宅介護支援事業所を立ち上げ、サ高住、デイサービスの３事業所で運営を行っています。令和２年度は、主に収益改善に重点をあて事業に取り組みました。

**イ．重点課題に対する取り組み**

**（ア）　サービス付き高齢者向け住宅**

サ高住では、令和２年４月より、家賃、共益費を見直し、家賃を3,000円～4,000円増額し、共益費は一律5,000円増額し運営しました。サービス活動収益として前年度より4,080千円の増収が得られました。職員増員や固定資産税の増税に伴い、支出も増え、サービス活動増減差額では、約2,000千円の増収となりました。

家賃・共益費の増額に伴い、新たなサービスの導入を行いましたが、新型コロナウィルス感染予防のためエアコンのクリーニング作業は行えませんでした。

**（イ）　デイサービス**

デイサービスでは、令和２年８月より利用定員を３名増やし定員18名で運営しました。
定員を増やしたときの利用者数は、入院などもあり１日平均14名程度でしたが、退院後は、利用者の介護度の上昇もあり、11月からは利用者数も増え、１日の平均利用者数が16名を超えています。

サービス活動収益は前年度より12,396千円増えています。利用定員数増加に伴い人員基準を満たすため職員の採用も行い、支出も約5,000千円増えていますが、サービス活動増減差額は、約7,000千円増額しています。

**（ウ）　居宅介護支援事業所**

居宅介護支援事業所では、特定事業所加算算定のため、７月より１名の職員を増員し運営を行いました。利用延人数は、323人増え、サービス活動収益は、前年度より4,168千円増加しました。人件費等も増えましたが、サービス活動収益では、約1,000千円増加しました。
人員基準など満たすことができなかったため、特定事業所加算算定には至りませんでした。

### （２）地域活動における公益的な取り組みの推進

**ア．外部環境**

新型コロナウィルス感染拡大の影響で、令和２年度は、密を避けるため集団での活動が取り組めない状況でしたが、社会福祉法人の事業所として、架け橋では、感染対策を行いながら下記のような地域における公益的な活動を行いました。

**（ア）毎週金曜日の奉仕活動　　（イ）障がい児（高校生）の職場体験受け入れ**

## ２．各事業の取り組み

### （１）＜サービス付き高齢者向け住宅＞

| | 入居者実数（全 27 室） | 入居稼働率（%） | 新規入居者数（人） | 退去者数（人） | 入院者（人） | 平均介護度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和１年度 | 24.8 | 91.8% | 7 | 5 | 19 | 1.86 |
| 令和２年度 | 25.0 | 92.7% | 3 | 3 | 17 | 2.21 |
| 前年比 | +0.2 | +0.9 | −4 | −2 | −2 | +0.35 |

・年間入居者実数は、入院等もあり、平均 25.0 名で、平均入居稼働率は 92.7%となりました

・新規入退居者数・・・入居者３名（前年比－４名）、退居者３名（前年比－２名）

＜退居事由＞　入院中の病状悪化　２名、自宅での生活希望者　１名

・入院者数：17 名（前年比－２名）

平均入院期間：29.5 日（前年比：+2.7 日）　最長 63 日（前年比：−3 日）

・共益費増額の対応の一つである、エアコンのクリーニング作業は、新型コロナウィルス感染予防のため、実施できませんでした。その他、消耗品の交換などは行えました。

### （２）＜デイサービス＞

・介護度別利用状況（前年度比）　　令和２年度　　平均介護度　1.92（+0.46）

| | 令和元年度 | | 令和２年度 | | 前年比 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 延回数 | 延人数 | 延回数 | 延人数 | 延回数 | 延人数 |
| 要支援者 | 363 | 54 | 200 | 34 | -163 | -20 |
| 要介護１ | 1,954 | 194 | 1,487 | 136 | -467 | -58 |
| 要介護２ | 717 | 60 | 1,104 | 87 | +387 | +27 |
| 要介護３ | 379 | 31 | 1,231 | 85 | +852 | +54 |
| 要介護４ | 301 | 24 | 291 | 20 | -10 | -4 |
| 要介護５ | 34 | 2 | 246 | 12 | +212 | +10 |
| 合計 | 3,748 | 365 | 4,559 | 374 | +811 | +9 |
| １日平均利用者 | 12.2 名 | | 14.9 名 | | +2.7 名 | |

・平均年齢 86.3 歳で高齢化したこともあり、平均介護度は、1.92 で、前年比より 0.46 増加しました。

・介護度別では、要支援、要介護１、要介護４のご利用者数は減っていますが、その他の介護度の方は利用延人数、延回数ともに増えています。

・新規利用者：６名　　利用終了者：４名

・８月から利用定員を 18 名としたこともあり、利用延回数は、811 回増え、4,559 回でした。

・ひと月の平均利用者数は、31.4 名。入院等で利用者が少ない月もありましたが、最少 28 名でした。

### （３）＜居宅介護支援事業所＞

・活動実績報告

| | 要介護１・２ | 要介護３・４・５ | 新規 | 中止 | 延人数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和元年度 | 198 | 55 | 34 | 7 | 253 |
| 令和２年度 | 374 | 202 | 44 | 18 | 576 |

・７月より職員を１名増員し、２名体制で運営し、延人数は 341 名増え、576 名でした。

・相談件数：54 件　（相談元）各病院、他事業所、長寿安心センターなど（月平均 8.3 名）

２名体制になってからの相談数は、50 名ありましたが、終末期の利用や施設入所への支援、相談業務のみなど、実績へ結びつかない支援も多くありました。

・中止者：18 名　（理由）永眠、入院による在宅生活不可、要介護度からの逸脱　など

・平均介護度：2.2（前年比+0.2）

## ３．苦情・相談

・相談苦情件数・・・5 件

| 相談・苦情内容 | 対　応　策 | 今　後　の　課　題 |
|---|---|---|
| 利用者に関すること（4 件）<br>・この人の近くは嫌だ（3 件）<br>※同じ入居者から<br>・他入居者の共用部分の電気の消し忘れを毎回消している。（1 件） | 席替えを実施<br>謝罪し、職員の見守り強化と他入居者へ電気を消すことを伝える。 | 仲の良い利用者の近くの座席配置にするよう職員へ統一する。<br>消灯後に入浴するため、職員へ消灯後の巡回の見守り回数を増やすよう徹底する。 |
| 職員の対応に関すること（1 件）<br>・入浴介助の時にスタッフが多すぎる。ゆっくり入りたい。 | 謝罪し、次に介助に入るスタッフの見学であったことを説明。次回からは、人数を少なくすることで見学の同意を得られる。 | スタッフの見学であっても、人数制限し利用者へ負担を与えないようにする。 |

## ４．防災訓練

| 訓　練　実　施　日 | 想　　定 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 令和２年８月 28 日<br>（いづろ今村病院合同） | 夜間想定<br>（ウェルネスじあいビル５階で火災発生） | 夜間帯でのウェルネスじあいビルでの火災。架け橋職員の動きといづろ今村病院と連絡方法の再確認。入居者の安否確認方法の再確認。いづろ今村病院応援スタッフとの連携と避難誘導。 |
| 令和３年２月 26 日<br>（いづろ今村病院合同） | 日中想定<br>（ウェルネスじあいビル４階で火災発生） | ウェルネスじあいビル４階で火災。火災時の病院との連携の再確認と、入居者の避難誘導。応援職員との連携再確認。 |
| 令和３年２月 22 日<br>（架け橋単体） | 日中想定<br>（ウェルネスじあいビル５階で火災発生） | デイサービス中の火災発生。利用者の避難誘導、職員の担当振り分けの確認。火災や災害の勉強会を利用者に向けて実施。 |

## ５．会議及び研修

### （１）会議及び定例会議

| 会　議　名（頻　度） | 参　加　者 | 内　　容 |
|---|---|---|
| いづろ今村病院との<br>定例会議<br>（2 週に 1 回） | 架け橋職員、架け橋居宅 CM<br>病院（CM、事務職員、MSW<br>など） | 入居者の状況報告を行い、情報共有を行う<br>入居者判定会議もあわせて行い、空室状況、入居希望者状況の情報共有も行った |
| 職員会議（月 1 回） | 全職員 | 施設の運営状況、報告事項の伝達、各職員からの連絡事項、研修報告など |
| 運営推進会議（年 2 回）<br>令和 2 年 9 月 9 日<br>令和 3 年 2 月 17 日 | ウェルネスじあい居宅 CM、架け橋居宅 CM、地域の町内会長、民生委員、いづろ今村病院 MSW、地域包括センター職員、利用者代表者、家族代表者など | 新型コロナウィルス感染対策を行い、人数制限を行いながら実施<br>デイサービスの運営状況や新型コロナ感染対策、事業活動内容などを報告<br>町内会長や包括支援センターの方から要望や意見を聴取<br>イベント活動や地域交流活動報告<br>利用定員の変更や、介護報酬改定に関する新たな加算算定についての説明 |

※　運営懇談会及びドリーミング集会（モニターの会）においては、新型コロナウィルス感染対策が十分に行えないため、令和 2 年度は開催を中止としました。

### （２）研修参加状況

| 日程 | 内　　容 | 日程 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 4 月 | 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修 | 12 月 | 利用者の尊厳を守る（その 2） |
| 5 月 | 事故防止の知識 | | コロナ禍における高齢者虐待防止のために気を付けること |
| 6 月 | 倫理・法令遵守の理解 | 1 月 | 組織を理解した仕事への取組み |
| 7 月 | 認知症の特徴と多職種連携の必要性 | | 医療安全研修 |
| 8 月 | 新型コロナウィルス感染対策 | 2 月 | 安全対策研修<br>KYT 訓練（危険予知トレーニング） |
| | 現場で起きるヒューマンエラー対策 | | 急変時の対応（1 次救命処置：BLS） |
| 9 月 | 災害時の対応と火災発生時のフローチャートの確認 | | 安全のための活動改善 |
| 10 月 | 個人情報の取り扱い | | 感染対策研修（ノロ、インフル、コロナウィルス） |
| 11 月 | 利用者の尊厳を守る（その 1） | 3 月 | 介護保険法改正について |
| 12 月 | アセッサー講習 | | 処遇改善加算について |

※　新型コロナウィルスの影響で、施設外研修が中止となり、施設内研修を中心に取り組みました。下半期には、リモート研修も開始され参加することもありました。

## ６． 年間行事報告

| 区　　分 | 行　　事　　内　　容 |
|---|---|
| デイサービス行事 | ・節分　　・ひなまつり |
| サ高住・デイサービス<br>合同行事 | ・鏡開き　・クリスマス会　・敬老会（入居者の踊りなど規模を縮小） |
| いづろ今村病院との合同行事 | ・消防訓練 |
| 地域活動 | ・奉仕活動（毎週金曜日）　・障がい児（高校生）の職場体験受入（5 日間） |

※ 令和２年度は新型コロナ感染対策のため、予定していたほとんどの行事を中止としました。

## ７． 職員管理

（１）入職者　正規職員　　２名（デイサービス、居宅介護支援事業所　各１名）
　　非常勤職員　　４名（デイサービス、サ高住）
（２）退職者　正規職員　　１名（デイサービス）